

# 週間漁海況情報—第8号

平成24年2月27日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.2.27）を示した。

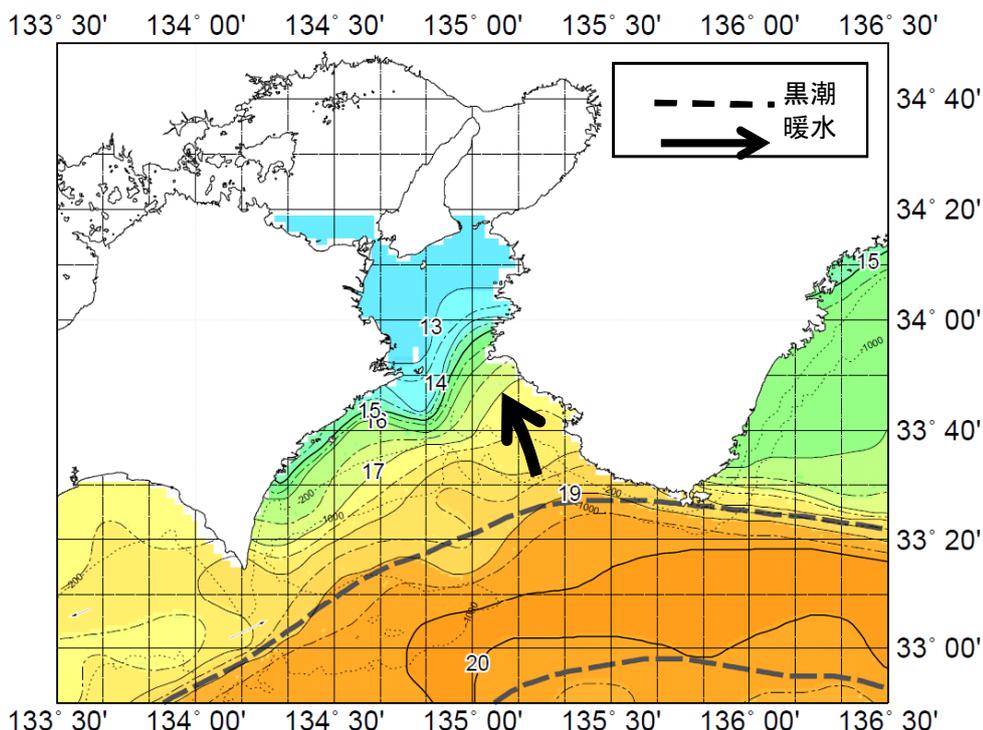
黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8℃台、紀伊水道で8～13℃台、海部沿岸で11～16℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸に暖水流入があり、その先端が紀伊水道内に浸入している。

紀伊水道外域の徳島県沿岸では内海系水の南下が見られ、海部沿岸下灘まで15℃以下の内海系水に覆われている。

漁業調査船「とくしま」で2月13、20及び22日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は「平年並み」～「やや低め」の11.3～13.2℃であった。



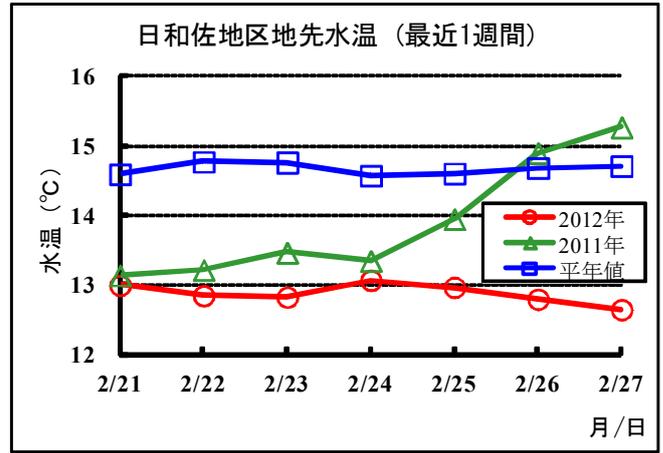
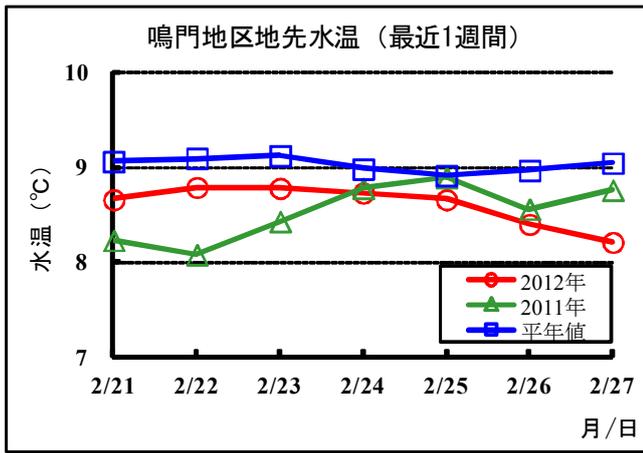
### 紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
2/13, 20, 22	今年値	11.3	11.4	11.9	12.3	13.2	32.9	33.0	33.2	33.4	33.7
	平年偏差	-0.4	-0.4	-0.5	-0.4	-0.2	-0.4	-0.3	-0.4	-0.3	-0.3
	前年偏差	0.8	0.9	0.8	1.4	1.5	-0.3	-0.3	0.2	0.3	0.3

**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の8.2～8.8℃、日和佐地区で「低め」の12.7～13.1℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の11.2～13.2℃で推移した（図は次ページに掲載）。

\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



## 2. 漁況の経過

**小型定置網**：海部沿岸で、中・小主体にアオリイカが0.4トン（1日1隻当たり7kg）、大主体にカタクチイワシが0.6トン（同32kg）、中主体にスルメイカが0.3トン（同15kg）、水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で、中・大主体にアオリイカが0.5トン（同102kg）、中主体にスルメイカが1.3トン（同250kg）、メジロが0.7トン（同148kg）、水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で中・大主体にゴマサバが0.2トン（同16kg）、大・中主体にタチウオが0.3トン（同57kg）、紀伊水道で特大～中主体にタチウオが0.5トン（同40kg）水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道でイカナゴが74トン（同530kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2月13日～2月19日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	52	363	7	中・小主体
		カタクチイワシ	20	634	32	大主体
		スルメイカ	20	297	15	中主体
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	5	511	102	中・大主体
		スルメイカ	5	1,250	250	中主体
		メジロ	5	742	148	
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	13	208	16	中・大主体
		タチウオ	6	342	57	大・中主体
	紀伊水道	タチウオ	13	526	40	特大～中主体
パッチ網	紀伊水道	イカナゴ	139	73,625	530	

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年2月21～27日の海部沿岸では、延縄でアマダイが0.2トン、小型定置網でハマチが0.3トン、大型定置網でアオリイカが0.8トン、カワハギが0.3トン、クロダイが0.2トン、スルメイカが0.3トン、マアジが0.6トン、紀伊水道では、パッチ網でイカナゴが16.9トン水揚げされていた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖・潮岬沖ともに「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」の8℃台、日和佐地先は「低め」～「平年並み」の12～13℃台で推移する見込み。